



## 平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.ipd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上石 芳昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括

(氏名) 久保 裕

四半期報告書提出予定日 平成27年10月9日

TEL 03-5408-3351

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第1四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	1,296	△0.9	99	4.1	112	8.6	74	20.6
27年5月期第1四半期	1,307	19.4	95	—	103	—	61	—

(注)包括利益 28年5月期第1四半期 130百万円 (48.1%) 27年5月期第1四半期 88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	15.15	—
27年5月期第1四半期	11.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第1四半期	8,598	7,859	91.4
27年5月期	9,359	7,827	83.6

(参考)自己資本 28年5月期第1四半期 7,859百万円 27年5月期 7,827百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	△12.2	168	△32.1	189	△28.2	122	△23.6	24.78
通期	5,450	△6.3	370	△24.2	420	△21.4	295	△4.9	59.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期1Q	5,745,184 株	27年5月期	5,745,184 株
② 期末自己株式数	28年5月期1Q	822,634 株	27年5月期	822,634 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期1Q	4,922,550 株	27年5月期1Q	5,416,490 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明さから輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、雇用情勢や設備投資に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が継続しております。

情報サービス産業におきましては、企業収益の改善に伴い、大企業・非製造業などを中心にソフトウェア投資は緩やかな増加傾向で推移しました。

こうした環境の中、当社は、「社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする新たな3カ年の中期経営計画（平成27年6月～平成30年5月）を策定し、IoT、自動車、環境・エネルギーをキーワードとし次なる中核ビジネスに注力すること、継続的な発展のために人材へ重点投資することに取り組んでまいりました。また、これまでも継続してきたソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで顧客に最大のメリットを提供することについては、各BU（ビジネスユニット）ごとに目標と評価方法を明確にし、計画に従ったPDCAサイクルを回す取組みを推進しております。

経営成績につきましては、組込システムとITサービスが好調だったものの、大型案件を完遂した特定情報システムは売上、利益とも前年を下回りました。また、新幹線の運行管理システムなどの開発サイクルの谷間となっている交通システムは、売上は前年を下回ったものの、前年にあった瑕疵対応が解消されたことで利益は増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,296百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は99百万円（前年同期比4.1%増）、経常利益は112百万円（前年同期比8.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### (制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは、国内および海外案件とも売上は前年を上回りました。しかし、海外案件は受注単価が低い傾向にあるため、中国（大連）のグループ会社でのオフショア開発することで利益確保を図りましたが、利益は横ばいに留まりました。また、プラント制御用コントローラシステムは、大型の開発案件の検収が第2四半期以降となるため売上、利益とも前年を下回りました。

自動車の制御システムは、変速機制御ではCVT（無段階変速機）の開発量が増加したことで堅調に推移しました。エンジン制御では開発量の多い変速機制御に技術者をシフトしたことで体制が縮小しましたが、自動車の制御システム全体では、売上、利益とも前年を上回りました。

この結果、売上高は220百万円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益は36百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

#### (交通システム)

交通システムでは、在来線の運行管理システムは、第2四半期以降に開発案件が集中しているため売上は前年を下回りました。新幹線の運行管理システムは、保守フェーズが継続しており売上は横ばいで推移しました。海外高速鉄道は試験フェーズとなり体制が縮小したことで売上、利益とも前年を下回りました。

交通システム全体では、売上は前年を下回ったものの、在来線や新幹線で前年にあった瑕疵対応が解消されたことなどで利益は前年を上回りました。

この結果、売上高は64百万円（前年同期比18.8%減）、セグメント利益は10百万円（前年同期2百万円の損失）となりました。

#### (特定情報システム)

特定情報システムでは、危機管理関連は前年に大型案件を完遂したことに加え、顧客の開発量が減少したことなどで売上、利益とも前年を下回りました。また、地理情報関連も前年に大型案件を完遂したことで売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は107百万円（前年同期比33.9%減）、セグメント利益は22百万円（前年同期比31.1%減）となりました。

#### (組込システム)

組込システムでは、車載情報システムは、車載プラットフォーム関連、通信ミドルウェア関連とも堅調に推移しました。ストレージデバイスの組込システム開発も、コンシューマー向けで新機種への対応や企業向けで担当機能が拡大したことなどで開発量が増加し堅調に推移しました。また、ストレージサーバー開発は、開発作業がピークとなったことで売上、利益とも前年を大きく上回りました。

この結果、売上高は349百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益は82百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

## (産業・公共システム)

産業・公共システムでは、公共向けにおいては、準天頂衛星システムは開発フェーズに入り体制が拡大しました。駅務機器開発は横ばいで推移しましたが、ICカード開発は作業量が減少しました。また、鉄道子会社向けのエンジニアリングサービスは、在来線システム開発などの収束に伴い作業量が減少しました。

産業向けにおいては、スポーツ関連システムは保守フェーズに入ったため売上、利益とも減少しましたが、コンビニ関連システムは開発フェーズに入ったことで体制が拡大しました。また、文書管理システムは、開発量が増加し堅調に推移しました。

この結果、売上高は316百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は75百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

## (ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は、デジタル家電製品の検証自動化ツール作成や自動車関連で作業量が増加するなど堅調に推移しました。構築業務は、作業量は堅調に推移しているものの、一部業務の検収が第2四半期以降となるため売上、利益とも前年を下回りました。保守・運用業務は、企業内情報システムがシステム更改に伴い体制が拡大しました。また、会計システムは堅調に推移し、その他は横ばいで推移しました。

この結果、売上高は237百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は46百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて760百万円減少して、8,598百万円となりました。この主な要因は、納税及び賞与支払いに伴い現金及び預金が減少したことによります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて792百万円減少して、739百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことによります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて32百万円増加して、7,859百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は、91.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の動向を踏まえ、平成27年7月6日に公表いたしました平成28年5月期第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。修正内容につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,612,692	1,072,707
受取手形及び売掛金	1,553,082	1,317,519
電子記録債権	810,676	627,840
有価証券	503,257	402,061
仕掛品	125,471	231,705
繰延税金資産	280,558	243,824
その他	37,155	98,378
流動資産合計	4,922,894	3,994,037
固定資産		
有形固定資産	217,922	215,190
無形固定資産	15,868	14,323
投資その他の資産		
投資有価証券	3,139,911	3,404,691
その他	1,062,522	970,558
投資その他の資産合計	4,202,434	4,375,249
固定資産合計	4,436,225	4,604,763
資産合計	9,359,120	8,598,800
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,761	69,530
未払法人税等	221,402	7,611
賞与引当金	673,689	182,678
その他の引当金	31,946	17,257
その他	436,538	340,745
流動負債合計	1,436,336	617,824
固定負債		
引当金	71,941	71,820
その他	23,638	49,442
固定負債合計	95,580	121,262
負債合計	1,531,917	739,086
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,718,651	4,694,785
自己株式	△754,212	△754,212
株主資本合計	7,777,696	7,753,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,505	105,883
その他の包括利益累計額合計	49,505	105,883
純資産合計	7,827,202	7,859,714
負債純資産合計	9,359,120	8,598,800

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	1,307,869	1,296,652
売上原価	1,051,074	1,028,152
売上総利益	256,795	268,500
販売費及び一般管理費	161,182	168,927
営業利益	95,613	99,572
営業外収益		
受取利息	6,462	6,190
受取配当金	248	3,665
その他	1,803	2,948
営業外収益合計	8,514	12,805
営業外費用		
その他	681	—
営業外費用合計	681	—
経常利益	103,445	112,377
特別損失		
固定資産除却損	48	0
特別損失合計	48	0
税金等調整前四半期純利益	103,396	112,377
法人税、住民税及び事業税	2,362	2,017
法人税等調整額	39,180	35,775
法人税等合計	41,543	37,792
四半期純利益	61,853	74,584
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,853	74,584

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
四半期純利益	61,853	74,584
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	26,595	56,377
その他の包括利益合計	26,595	56,377
四半期包括利益	88,448	130,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,448	130,962
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)  
【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	220,792	79,759	162,597	307,512	312,363	224,842	1,307,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	220,792	79,759	162,597	307,512	312,363	224,842	1,307,869
セグメント利益又は損失(△)	51,156	△2,222	32,986	72,800	76,654	43,803	275,178

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,307,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	1,307,869
セグメント利益又は損失(△)	△179,565	95,613

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△179,565千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△161,182千円及びその他△18,383千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	220,783	64,794	107,479	349,886	316,615	237,093	1,296,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	220,783	64,794	107,479	349,886	316,615	237,093	1,296,652
セグメント利益	36,360	10,473	22,734	82,012	75,926	46,112	273,620

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,296,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	1,296,652
セグメント利益	△174,047	99,572

(注) 1. セグメント利益の調整額△174,047千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△168,927千円及びその他△5,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	184,423	+8.7
交通システム	54,320	△33.7
特定情報システム	84,744	△34.6
組込システム	267,873	+14.1
産業・公共システム	240,689	+2.1
ITサービス	190,981	+5.5
合計	1,023,032	△0.9

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	281,913	+59.0	226,672	+197.4
交通システム	156,289	△5.1	186,969	+5.9
特定情報システム	105,305	△62.0	91,416	△54.6
組込システム	387,559	+2.7	110,626	△50.7
産業・公共システム	327,986	△14.8	221,307	△24.3
ITサービス	192,872	△25.0	91,880	△18.7
合計	1,451,926	△11.4	928,873	△14.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	220,783	△0.0
交通システム	64,794	△18.8
特定情報システム	107,479	△33.9
組込システム	349,886	+13.8
産業・公共システム	316,615	+1.4
ITサービス	237,093	+5.4
合計	1,296,652	△0.9

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	308,513	23.6	251,147	19.4
株式会社東芝	165,062	12.6	208,850	16.1
アルパイン株式会社	—	—	149,832	11.6
日立オートモティブシステムズ株式会社	—	—	140,339	10.8

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 前第1四半期連結累計期間におけるアルパイン株式会社及び日立オートモティブシステムズ株式会社に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。